

ぼくのうちにくるせみ

阿蘇市立宮地小学校 1年 なおお ゆうき

1 けんきゅうのきっかけ

ぼくのいえには、木がたくさんあり、せみがまいとたくさんくる。でも、せみのことをよくしらないので、せみのことをくわしくしらべてみることにした。

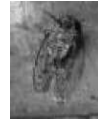
2 けんきゅうのほうほう

- (1) せみをつかまえ、かんさつする。 (2) せみのちがいをしらべる。
- (3) よくくる木やばしょ。 (4) よう虫がでてくるあなやぬけがらがみつかるばしょ。
- (5) よう虫のようすやうかのようす。 (6) なくところやせみのことをしらべる。

3 けんきゅうのけっか

(1) せみのかんさつ

- ①あぶらぜみ ②ひぐらし ③つくつくぼうし ④にいにいぜみ



(2) せみのちがいを

なまえ	はね	もようからだ	おおきさ	なきごえ	みたり、きいたじき
あぶらぜみ	ちやいろでしろくてんてん	くろい	はねもはあついろい	ジージリジリ	ひるからなく7がつ9がつ
ひぐらし	すきとおる、てんてん	みどり、くろしろ	はねもあついろい	カナカナ	ゆうがたなく7がつ8がつ
つくつくぼうし	すきとおる、てんてん	はねもろのかからだ	ひぐらしより小さい	ジーイツクツクボー	8がつによくないた
にいにいぜみ	うすちやととうめい	たいやたいのもよう	いちばんちいさい	チー	めすを7がつ

(3) せみのよくくるばしょ

①いえの木によくきて、たかいところではなく、大きなみきやえだにとまっていた。

(4) よう虫のでるあな、ぬけがらについて

①よう虫のでてくるあなは、木の下くさばなの下がおおかった。

②あなからぬけがらまではかると、てをひろげたきよりから、せのたかさの2ばいくらい。

(5) よう虫のようすやうかのようす

①あぶらぜみのよう虫は土からでてきてはじめはしろいが、うかすると、ちやいろくなる。

(6) せみのなくところやせみのこと

①せみのなくところは、おなかの「ふくべん」で、おすはなくのおなかやからだが大きく、めすはたまごがおなかにあり、なかない。

③めすはかれ木にたまごをうみつけて、ふかしたよう虫は土のなかにもぐる。

4 けんきゅうのまとめ

(1) せみは、木や土がないといけないことがわかり、ぼくのうちには木がたくさんあるからよくきて、またたまごもうんで、うちの木のなかや土のなかでそだっていることがわかった。

(2) せみもいろいろなしゅるいがあり、なきかたもちがうことやおなかでないでいること、おすだけでなくことがわかった。

(3) これからもうちにくる (いる) せみのことをつづけてしらべていこうとおもう。